

## 目次 Contents

- 3 【特集】裾野 この1年
- 6 【特集】令和2年度裾野市の財政状況
- 8 人事行政運営公表
- 10 フォトグラフ
- 12 下水道使用料が改定
- 13 市民意識調査結果公表
- 14 市開発行為等の手引き一部改正(案)への意見を募集／都市計画の変更に関する案の縦覧／第2期市教育振興基本計画(素案)・第2期市スポーツ推進計画への意見を募集／第2次すその健康増進プランなどへの意見を募集
- 15 市内ロケ映画『樹海村』特別試写会／年金生活者支援給付金制度／ひとり親世帯臨時特別給付金／麦塚区でコミュニティ助成事業を活用して防災対策
- 16 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子／すこやかタウン

## 表紙 Front cover



### 秋の夜空に花火が満開

11月8日(日)、深良の夜空に花火が上がりました。花火は、深良用水通水350年を記念して先人への感謝と悪疫退散の願いを込めて、打ち上げられたものです。主催者が、350発の10倍返しと表した3,500発の花火を見上げる市民の姿が各地で見られました。



## 人をつなぐ、手書きの“お便り”

YoKoだより編集者  
室伏 楊子さん (78歳・公文名三)

手書きの文字と柔らかいタッチのイラストで作る室伏さんの“お便り”は、クイズや雑学、季節の話題など、つい誰かに話したくなる記事が紙面を飾ります。

最初のお便りは2010年5月、役員を務めていたシニアクラブ『公文名たすとクラブ女性部』で、会員同士のつながり作りを目的にTaSuToだよりとして発行しました。お便りは会員同士の話題になり、弾む会話の中から次のお便りの記事となる仲間の特技や特長を見つけることができました。2019年3月に役を退任するまでに発行したお便りは、103を数えました。

退任後、市の講座で新聞づくりを学び、2020年2月にYoKoだよりとして再び発行しました。友人や自身が参加したイベントなどで配布すると評判が口コミで広がり「自宅まで取りに来た人がいたときは嬉しかったです」と話します。

「とにかく書くことが好き。私なりに続けて

いきます」と話す室伏さん。記事のネタがメモされたノートをもとに、約1時間で書き上げられるお便りは、今後も人をつなぎ続けます。

YoKoだよりは、市民活動センターで配架しています。



susonobito No.21